

事業所名		児童発達支援センターすまいるキッズ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		令和7	年	1	月	27	日
法人（事業所）理念		私たちは福祉人として人間の尊厳を基に、障害のある方が希望に満ちた人生をおくれるため、また社会で自立し、健康で心豊かな生活が出来るようサービスの向上に努め、利用者の意向を尊重した支援に邁進します。													
支援方針		児童が社会で自立し、安心した生活が出来るよう児童及び保護者の立場に立ち、個々に合った適切な支援を提供する。													
営業時間		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	食事、排泄、着脱など基本的生活動作が自分で出来る経験を増やししながら、日常生活における基本的生活動作の習得支援に努める。（健康管理、生活リズムの定着）													
	運動・感覚	元気な身体を作るための基盤として「運動」「音楽」等の感覚刺激を統合しながら、体幹をつくるための運動やトレーニングを強化する。又肌や素足を通じて刺激を得ながら、自然の中でのびのびとダイナミックに活動出来る戸外環境を整備する。（体幹運動、感覚刺激などの感覚的な遊び）													
	認知・行動	知育玩具等を使用しながら数や文字への興味へ繋げていけるように努める。イラストや絵カード等を使用し視覚情報から、行動認知（行動スキル）の習得支援に繋げていく。													
	言語コミュニケーション	自分の気持ちを表現でき、見立て遊びや言葉遊び（しりとり、伝言ゲーム）をやり取りしながら表現や上手く関わっていける方法を習得します。													
	人間関係社会性	様々な状況を受け入れられる場面を経験しながら、自己理解や他者理解、ごっこ遊びなどを通して集団での遊び（ルール、マナー）など実体験を通して、人と上手く関わっていける方法を習得し自己肯定感の向上をしていきます。													
家族支援		保護者同士が子育てについて相談出来るような場を提供する。各市町の保健師の協力を得て保護者が前向きな気持ちで子育てが楽しめるようペアレントプログラムの実施。保護者アンケートの実施をしサービスの向上を目指していく。							移行支援		公開療育見学、療育方法や取り組みへの質問対応、実習対応、交流会。就学先の学校へは移行支援シートを作成し提供。				
地域支援・地域連携		就園や就学などの集団生活に繋ぐためのツールとして移行支援シートを作成、切れ目ない移行支援を目指す。町内の園や学校及び地域との交流体験を働きかけ相互関係を深めながら安心して過ごせるような共生社会を目指す。園や学校との個別支援会議を実施し、目標や方向性を擦り合わせ関係機関と共通理解を図る。							職員の質の向上		丁寧なサービスを提供するためや支援の質を高めるための研修会を開催しスタッフ間で学び合いながら相乗効果を目指す。利用者の情報を共有するための会議を定期的に行い、個々の支援や対応等についてスタッフ間で共通理解する。他園との交流会及び研修会を実施。熊毛地区の事業所間で共通した気持ちで課題を共有し相互に療育の質を高め合う。				
主な行事等		親子運動会、親子遠足、親子療育（年2回）、クリスマス会、センター避難訓練（年2回）、避難訓練（毎月）給食試食会、定期健康診断（年2回）、													